

バイオマス取組事例概要

《社団法人日本有機資源協会会長賞》

- ・応募主体 滋賀県愛知郡愛東町
- ・都道府県・市町村 滋賀県愛知郡愛東町
- ・取組分野 菜の花プロジェクト

取組概要

滋賀県環境生活協同組合との連携にて、菜の花プロジェクトの具体的な地域モデル。

琵琶湖の赤潮発生をきっかけに、廃食油(300㍑/月)を回収し、リサイクル石けんづくりを進めてきたが、石けん使用率の低下により廃食油の新しい利用形態として、平成8年に廃食油の燃料化プラントを整備し、公用車やトラクター等の燃料への利用を図っている。

菜の花プロジェクトの地域モデルとして、滋賀県環境生活協同組合との連携にて、菜の花を栽培し、食用にした後で燃料化する取り組みを推進している。

現在、更なる利活用に向け、木質炭化施設、バイオディーゼル燃料化施設を整備中。



道の駅マーガレットステーションに隣接して菜の花を作付け(8ha)。滋賀県から30万円/haの助成金あり。

菜の花プロジェクトの活動では、菜の花エコ学習会、搾油体験学習会、菜の花エコ給食、普及啓発活動など、幅広く活動を展開しており、全国の自治体やNPOに刺激を与え続けている。



愛東町は、「概念論」や「義務論」で抽象的に循環型社会を語るのではなく、自分達の地域の課題を見つめながら、どうすれば住みやすくなるのか、元気な地域社会になるのか、豊かな心を持った人達で輝いている地域になるのかを、真剣にしかも楽しみながら取り組んでいる。

